講義科目名称:教育実習(事前指導)

授業科目の区分等: 教職科目 教職に関する科目(教育実習)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
集中	4年	2	選択	
担当教員				
下山 寿子・菅原 亮芳				
C (商学部)	T (教職科目)		ED (教育)	

(商字部)		T (教職科目)
授業のねらい(概	菅原嘉芳 •	下山寿子(複数)
要)	教育実習	
	学校教育の)実際を体験的・総合的に理解し、教育実践研究の基礎的能力と態度を身につける。 「学校現場の教師のしごとを知り、教師としての適性を見極めるとはどういうことか」
授業計画	第1回	オリエンテーション/授業目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法
		予習(時間): シラバス熟読(120) 復習(時間): 本科目の内容確認(120)
	第2回	教育実習の意義と目的
		予習 (時間) : 教科書(1-7頁)・配付資料熟読 (120)
	第3回	復習(時間): 学習内容のまとめ(120) 教員の職務に関する服務(ゲスト講師)
	7170	予習(時間):配付資料熟読(120)
	第4回	復習(時間): 学習内容のまとめ(120) 学校保健と安全教育(ゲスト講師)
	为 4四	子 (大) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ
	forte = I	復習(時間): 学習内容のまとめ(120)
	第5回	学校運営の組織と校務分掌(ゲスト講師) 予習(時間):配付資料熟読(120)
		復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)
	第6回	ホームルーム活動・授業づくりの手順 ①学級経営案・学習指導案の作成とその方法
		予習(時間):教科書(89-109頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)
	第7回	ホームルーム活動・授業づくりの手順②教材作成、教材研究
		予習(時間):教科書(115-136頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)
	第8回	模擬授業と相互批評①学生グループ1の模擬授業
		予習(時間):教科書(11-30頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)
	第9回	模擬授業と相互批評②学生グループ2の模擬授業
		予習(時間):教科書(31-46頁)・配付資料熟読(120) 復習(時間):学習内容のまとめ(120)
	第10回	模類授業と相互批評③学生相互の評価、省察
		予習(時間): 教科書(47-60頁)・配付資料熟読(120)
	第11回	復習(時間): 学習内容のまとめ(120) 模擬授業と相互批評④学生グループ 3 の模擬授業
	7171111	予習(時間):教科書(61-85頁)・配付資料熟読(120)
	第12回	復習(時間): 学習内容のまとめ(120) 模擬授業と相互批評⑤学生グループ 4 の模擬授業
	为12回	突厥 攻果と相互批評の子生ケル・ク 4の突厥攻果 予習(時間): 教科書(86-88頁)・配付資料熟読(120)
	Mr. 1 O I	復習(時間):学習内容のまとめ(120)
	第13回	模擬授業と相互批評⑥学生グループ 5 の模擬授業 予習(時間):教科書(115-135頁)・配付資料熟読(120)
		復習(時間):学習内容のまとめ(120)
	第14回	模擬授業と相互批評⑦学生相互の評価、ディスカッション 予習(時間):教科書(115-135頁)・配付資料熟読(120)
		復習(時間):学習内容のまとめ(120)
	第15回	全体のまとめ/これまでの模擬授業の総括 (198) ************************************
	-1-26 1:-	復習(時間): 教科書(136-142頁)・学習内容の総まとめ(120)
授業を通して身に 付けることができ	商学部 1. 職業人自	的倫理観を持ち、組織で協働できる能力
る能力 (DP)	3. 専門的分	分野の学びを、実務や社会で応用できる能力
到達目標	解し、説明)教育実習の意義と目的を理解し、説明できる。(2)教員としての服務と学校の組織と運営を理 できる。(3)教材研究ができ、学習指導案、学級経営案を作成でき、模擬授業ができる。(4) 心構えはできている。
課題や小テスト等 のフィードバック の方法	1	必要に応じて適宜手直しし指導助言し返却することもある。
履修上の注意	にたずさわ 育実習に向	等学校教育実習の前年度後期に受講すること。この授業は教育実習参加予定者を対象に、教育現場 る外部講師などの講義や、学習指導案の作成とその方法、模擬授業などの多様な活動を通して、教 けてのさまざまなトレーニングを行う。この授業は参加学生全員の実践活動を通して、自己の教職 吟味し、教育方法の技術を学ぶことに意義があるので、学生の主体的な参加と実践が強く要求され

成績評価の方法・ 基準	模擬授業50%、レポート50%(小レポート数回・最終レポート)の総合評価とする。
教科書	高等学校教育実習ハンドブック・永添祥多他編著・風間書房・1980円
参考書・教材	【参考書】高等学校学習指導要領・平成30年3月・文部科学省【教材】各年度の「検証・教育実習」と「省察集」・高崎商科大学
備考	教育実践科目
教員との連絡方法	オフィスアワー